

# 問 地域農業の将来的方向性は

# 答 小規模で収入増の園芸作物に転換など



津滝俊幸議員

【農業・農政について】

**問** 神城地区での用水の水不足への対応は。

**村長** 農業振興のために、水不足は解消しなければならぬ課題です。具体的対策として、姫川からの取水能力と効率向上を図るために、水利施設整備事業を活用したパイプライン化や受水槽更新を考えています。次年度に取水量と受益面積が適正なものか調査を行う予定です。

**問** 水不足対応策の財源は。

**村長** 土地改良区においては、小水力発電により売電収入を財源とした計画を作成中です。

**問** 奈良井地区整備に伴う維持管理については。

**村長** 付近の農地にカメムシ被害を与えないよう、草刈りを複数回行い、ラジヘリ防除を検討していきます。鳥害については猟友会とも相談し検討します。

**問** 多面的機能支払事業の全村的活用は。

**村長** 白馬村では耕作面積550haに対して、多面的機能支払事業の取組面積は404haでカバー率72.7%です。長野県のカバー率31.2%に対して、大きく上回っている状態です。地域農業を守るためには、農業者と地域の人が一緒に取り組むこの事業は全村的に推進すべき制度と認識して、事務の広域化も含め普及に努めます。

**問** 担い手の確保や優良農地の保全については。

**村長** 担い手不足は深刻です。優良農地の保全策として圃場整備を進めます。特に北城

地区においては、農地整備することにより農業の生産性や所得の向上に繋がり、継続的な農業に結びつくことを確信しています。

**問** 平成30年からの減反政策廃止に伴う対応策は。

**村長** 30年以降の農業政策、とりわけ米政策については国の動向に注視し、村の農政にとって有効な施策を、中規模農家や農業法人との意見調整により検討していきます。

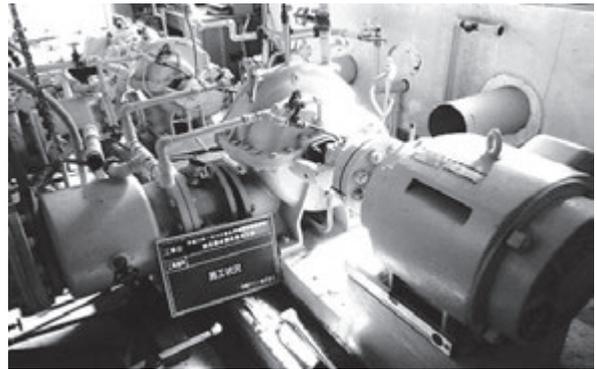
【森林・里山整備について】

**問** 森林や里山の整備が滞っているが、今後の対策は。

**村長** 大北森林組合の補助金不正受給問題発覚以来、村内の森林整備の停滞に大変憂慮しています。県へも実情を訴え、同森林組合の再生支援をお願いしました。各地域の森林整備協議会と共に、里山の景観や作業道の整備を推進していきたいと考えています。

**問** 里山の活用ルールづくりは。

**村長** 事業の終了した作業道等が活用できる旨は、県に



整備が必要な用水施設の内部(上)と外観(下)

**問** 整備された里山をマウンテンバイクやトレッキングなどの観光振興に活用すべきでは。

**村長** この提案については賛同します。すでに東山トレイルなど個人ツアーも企画されています。里山の観光資源として磨き上げる有効な手段として、森林整備を積極的に進めていきます。

【地域アプリの企画作成・活用について】

**問** 地域アプリを企画作成し、行政運営に活用しては。

**村長** 地域アプリはゲーム的なものも含め様々な種類があり、方法によっては面白い切り口が出来る可能性のあるツールであると思います。観光や防災など、地域情報の発信に役立たいと考えています。